



尼崎市立立花中学校 学校だより

令和6年度1月号

強く生き、正しく考え、優しく関わる立中生

「1.17は忘れない」

校長 前田 裕司

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年の干支は「乙巳（きのと・み）」です。乙（きのと）は、十干の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へ広がっていくという未だ発展途上である意味を持ちます。また、十二支の巳（み・へび）は神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルとされてきました。そのため乙巳（きのと・み）は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していき、これまでの努力や準備が実を結び始める」時期を表しています。皆さんにとって、「これまでの積み重ねてきたことが結果としてあらわれてくる1年」となることを願っています。



さて、1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災から今年で30年をむかえます。5時46分に発生したマグネチュード7.3の大地震は6,437名の犠牲者を出しました。ビルや高速道路、鉄道の駅舎も倒壊し、ライフラインでも水道の断水が130万戸、ガスの供給停止が86万戸、停電が260万戸、電話の不通が30万回線と今でも想像をはるかに超えた災害でした。その後も大きな地震は、2011年は東日本大震災、2016年に熊本地震、2018年には大阪北部地震、そして昨年は能登半島地震が起こっています。日本は、地震の原因となるプレートがぶつかる場所の上にあるので、世界の中でも地震の多い国となっています。今後は、南海トラフ・東南海地震に備えることが必要になってきます。

阪神淡路大震災と東日本大震災から学ぶ教訓が三つあると言われています。一つ目は、『緊急地震速報や津波速報は過小評価される傾向がある』ということです。最初に発表される速報



よりも大きな揺れや津波がくることを意識して非難の準備を急ぐ必要があるということです。二つ目は、『二種類以上の情報入手手段を持つ』ということです。大きな地震が発生すると停電が起こります。テレビでは情報が得られないことを想定して携帯ラジオやインターネットが使えるスマホなど複数の情報入手できるツールを持っていることが必要になります。三つめは、阪神淡路大震災の

死因の8割以上が、家屋の倒壊による圧死や窒息死でした。家の耐震化はなかなかすぐにはできませんが、家具の固定、防災グッズの準備、家族での防災会議、ハザードマップの確認などは可能です。地震が起こることは誰にも止めることはできませんが、被害を最小限にすることは可能です。自分の命をはじめ大切な人を守るために各家庭におかれましても防災対策をよろしく願いいたします。

〈1月月中行事予定〉

日	曜	行事
1	水	元旦
2	木	冬季休業日
3	金	冬季休業日
4	土	
5	日	
6	月	冬季休業日
7	火	冬季休業日
8	水	始業式・生徒会認証式
9	木	専門委員会
10	金	1,2年あまっ子ステップアップ調査
11	土	
12	日	
13	月	成人の日
14	火	
15	水	
16	木	

日	曜	行事
17	金	避難訓練⑥
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	オープンスクール(午後)
24	金	14:40～新入生説明会
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	2年薬物乱用防止教室

〈表彰紹介〉

第52回兵庫県アンサンブルコンテスト東阪神地区大会

打楽器6重奏 金賞 **県大会出場!**

2年生 Kさん、Sさん、Yさん

1年生 Gさん、Tさん、Yさん

クラリネット7重奏 金賞

2年生 Uさん、Yさん、Yさん

1年生 Aさん、Oさん、Mさん、Yさん

